

【都筑ハートフルステーション】

連続稼働時間 72 時間のレイパワー製発電機導入で、

災害時も入居者様に安心していただける施設に

ー都筑ハートフルステーション様 インタビュー

2001年に横浜市都筑区に開設された、介護老人保健施設「都筑ハートフルステーション」様。「災害時でも入居者様に安心して快適に過ごしていただきたい」という想いから、レイパワー製発電機を導入されました。今回は、総務課 林孝弘さんに、発電機導入までの経緯や災害に関する取り組みなどについて、お話を伺いました。

入所者様の安心、安全を第一に考える介護老人保健施設

都筑ハートフルステーションは、2001年10月に、一般棟60床、認知症専門棟40床、計100名の受け入れが可能な介護老人保健施設として開設しました。こちらは、グループホームを併設する横浜初の老健施設です。入所、ショートステイ（短期入所療養介護）、デイケア（通所リハビリテーション）と、多くの方にご利用いただいております。また、都筑ハートフルステーションを運営する医療法人 活人会は、「水野クリニック 内科・小児科」を母体とし、「高齢者グループホーム横浜はつらつ」、「高齢者グループホーム横浜ゆうゆう」「おひさま病児保育室」なども展開し、地域医療と福祉を充実させたいと日夜努力しております。

私たちが施設を運営する上で最も心がけていることは、入所者様にいかに安心、安全に過ごしていただけるか、ということです。普段、快適に過ごしていただくのはもちろんですが、避難訓練や災害訓練を行うなど、もしものときも想定した取り組みも欠かせません。

災害時でも入居者様の命を守り、快適に過ごしてもらいたい

災害時の電源確保は、介護老人保健施設にとって非常に重要です。災害という誰もが不安を感じる中、真っ暗で、外の世界との通信が思うようにできない状況に、パニックを起こす方も出てきます。そういった状況を回避するため、施設には以前よりディーゼル発電機を設置しておりました。しかしそれだけでは満足できませんでした。

東日本大震災から10年が経つ今でも余震が見られるこの状況に、災害を身近に感じずにはられません。また大きな災害が起こったとき、私たちは的確な判断と行動ができるだろうか、入居者様を守れるだろうか、と、考えました。

当施設の理事長で横浜市医師会の会長でもある水野恭一は、「災害時でも入居者様の命を守り、快適に過ごしてもらいたい」と、常々話しています。また、そのために最善を尽くしたいとも語ります。

6000W の電気を 5 日間連続で供給できる施設に！

停電になったとき、まず電力を供給したいのは「照明機器」「通信機器」「介護用機器」です。これらは施設を運営する上で重要です。

これまで設置していたディーゼル発電機の稼働時間は、わずか4時間。これは決して十分とは言えません。もっと長い時間稼働する発電機が必要だと考えました。

さらに災害が発生し、現場が騒然とする中、「誰が発電機のスイッチを入れるのか」は大きな課題でした。災害が起これば、私たちは真っ先に入居者様の身の安全を確保しなければなりません。また心のケアも必要でしょう。介護職員は入居者様の対応で手一杯となり、発電機のスイッチを入れるという作業は大きな負担になりかねません。また、災害はいつ何時起きるか分かりません。事務所職員が不在の夜中や休日に発生することも大いに考えられるのです。

そこで今回、連続稼働時間が 72 時間と非常に長く、また停電時に自動起動するレイパワー製「RAYPOWER 3kVA」の導入を決めました。

まず驚いたのが、レイパワー製の発電機の稼働時間です。世界的な自動車耐久レース（ル・マンやデイトナ等）により培われた技術を受け継いでいるため、燃費が良く、LP ガス 60kg で 72 時間以上の稼働と聞き、安心感を抱きました。

また、「誰がスイッチを入れるのか」という課題を解決したのが、レイパワー製発電機の自動着火の機能です。停電を自動検知し、約 40 秒以内に発電機が自動的に起動するというシステムは、私たちが求めていたものでした。

さらに、レイパワー製発電機の小型・軽量も大きな魅力です。当施設がある都筑区大圃町は、「洪水浸水想定区域」に指定されています。そのため、発電機を地上（1階）に設置することは避けなければならないが、建物の2階以上に設置することが必要でした。レイパワー製発電機は小型・軽量であるため、この条件を満たし、建物2階の 5.6 m²のスペースに2台設置することができました。また、2階と3階には入居者が居住する部屋もあるのですが、小型・軽量に加え、発電機が稼働する際の音と振動が小さいため、この場所に問題なく設置することができたのです。

レイパワー製発電機を2台導入したことで、当施設は 6000W の電気を 120 時間（5日間）連続で供給できる施設となりました。これほどの安心感はありません。

災害はないに越したことはありませんが、レイパワー製発電機を導入したことで、入居者様に安心、安全の提供をできることは嬉しく思っています。

今後発生するかもしれない大地震や災害などに備え、万全の対策をとることは私たちの使命だと思っています。